

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
移動平均法による原価法を採用している。
満期保有目的の債権・・・償却原価法（定額法）
- (2) 固定資産の減価償却方法
定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	122,520,798		175,590	122,345,208
普通預金	247,065			247,065
小 計	122,767,863		175,590	122,592,273
合 計	122,767,863		175,590	122,592,273

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	122,345,208	(122,345,208)	()	()
普通預金	247,065	(247,065)	()	()
小 計	122,592,273	(122,592,273)	()	()
合 計	122,592,273	(122,592,273)	()	()